



★今週の1題★ 過不足算

～解説～

- (1) 16個と12個をそれぞれ1.5倍すると24個と18個になります。
よって、大箱1箱に24個ずつ、小箱1箱に18個ずつすべて詰めると、大箱1箱に16個ずつ、小箱1箱に12個ずつ詰めた時の個数の1.5倍が必要となります。
そしてその差が、
 $150 + 350 = 500$ (個)
であることから、飴の個数は、
 $500 \div 0.5 + 150 = 1150$ (個) ... (答)
- (2) 大箱1箱に19個ずつ、小箱1箱に13個ずつ詰めると全部のあめをぴったり詰めることができたということは、大箱1箱に16個ずつ、小箱1箱に12個ずつ詰めてあまった150個を大箱に3個ずつ、小箱に1個ずつ詰めたらぴったり詰めることができるということです。
大箱の個数を□個、小箱の個数を△個とすると、
 $19 \times \square + 13 \times \triangle = 1150$... ①
と、
 $3 \times \square + \triangle = 150$... ②
の2つの式が成り立ちます。
②は、
 $\triangle = 150 - 3 \times \square$... ③
と変形できます。
③を②に代入すると、
 $19 \times \square + 13 \times (150 - 3 \times \square) = 1150$... ④
となります。
これを解くと、
 $\square = 40$ 、 $\triangle = 30$
となり、以上より、
(答)大箱40個、小箱30個